

実践記録

学校 / 学年	小学校 / 4 年	
教科等：単元名	総合的な学習の時間：「ホームページの落とし穴」	
キーワード	情報モラル	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	d 3：情報社会の危機から身を守るとともに、不適切な情報に対応することができる。
	中目標項目番号 中目標項目内容	d 3 - 1：予測できる危機の内容がわかり、避ける。
授業会場	☒ パソコン教室 ☐ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	いろいろなホームページの例を見ながら、全ての情報を鵜呑みにするのではなく、中には誤った情報や危険な情報もあることを知り、ホームページを閲覧する際にその信頼性を予測し、正しく安全な情報を選ぶことができる。	
使用教材	教材名	School Online「はむはむのオンライン教室」の「ホームページの情報モラル講座」
	製作者	(株) Benesse
	入手先 (URL 等)	http://www.teacher.ne.jp/students/index.html

○ 展開

	学習活動	・ 指導 評価
導入	・ 今までどんな時にインターネットを使ったか、話し合う。	・ インターネットの便利さや楽しさを確認する。
展開	・ いろいろなホームページの例を見ながら、その情報の信頼性を判断する。	・ 個人情報を集めようとしているもの、チェーンメールを出させようとしているもの、偽りの情報で商品を販売しようとしているもの、有料サイトへ誘導しようとしているものなど、危険性を具体的にまとめる。 ホームページの情報の信頼性について考え、危険性に気づくことができたか。
終末	・ ホームページの閲覧の感想やこれからどんな点に気をつけていくか話し合う。	危険が予想される情報は避け、正しい情報を選んで利用していこうとする意識が持てたか。

○ 授業の成果

- ・ インターネットから入って来る情報は全て正しいと思っていた児童が、いろいろな例を見ながら、どういうものが危険なのか具体的に知り、驚くとともに被害にあわないように気をつけようという気持ちを感想に書いていた。

○ 指導のポイント・留意点

- ・ 全員で同じ画面を見ながら意見を出し合うようにした方が、危険性を一つ一つ確認することができ、有効である。